

# 7つの集落がひとつになり、 地域資源を活かして笑顔の循環をめざす ～ 葛城山麓地域協議会～（葛城市）

## 7つの集落がひとつになって地域を守る

葛城山の東麓に位置する7つの集落を構成員とする「葛城山麓地域協議会」は、地域の賑わいづくりはもとより、荒れていく農地を守りたいという思いから、農地の維持保全活用を中心とした地域づくりを目的に平成21年に結成されました。

各集落の良いところを互いに伸ばし合い、「あってよかった協議会」を実感できる「つながり方の実践」として、平成26年から「葛城山麓ウォーク」を開催しています。また、地域資源を活かして新しい特産づくりにも取り組んでいます。



葛城山麓地域協議会のみなさん

## 都市住民との交流が広がる「葛城山麓ウォーク」の開催と地域資源の活用

### 葛城山麓ウォーク

毎年11月23日（祝）に開催される「葛城山麓ウォーク」は、7つの集落内をめぐる約10キロメートルのウォーキングコースで、地域内外から約800人（令和7年）が参加する交流の場となっています。農業と文化、そして何よりも指定棚田地域に認定された山麓ならではの素晴らしい眺めを満喫してほしいという思いで、集落毎に様々な催しを行っています。

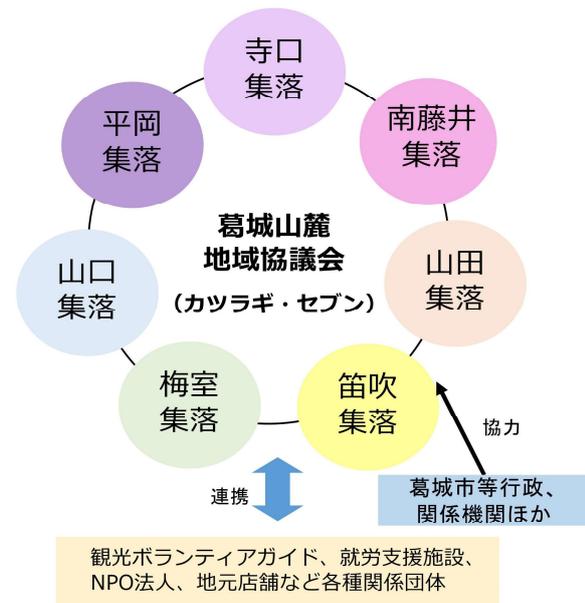
また、本イベントは協議会の情報発信や新たな取組の試行、ニーズ調査の場にもなっています。

### 遊休農地等を活用した特産づくり

協議会では遊休農地等で、スペルト小麦、薬草（大和トウキ）、山椒の試行栽培やそばの栽培などを行い、農地の保全とこれらの地域資源を活用した特産づくりにも取り組んでいます。



葛城山麓ウォークの様子



## 将来ビジョンは「地域資源で笑顔の循環」

協議会では地域の将来を考え、地域の取組に共感する「人」が集まる仕掛けづくりを行っています。その一つとして、地域内外から農作業やイベントなどを応援する「援農隊」は現在延べ13名になり、令和8年からは協議会の準会員として様々な活動に参加する仕組みづくりやスポット的な農作業の応援者の受入体制も検討しているところです。

今後は、放置竹林等を活用したバイオ炭の販売、薬膳料理教室の開催、収益につながる新たな作物の栽培や地域内外の人々の交流を更に進めることで、将来ビジョンである「葛城山麓地域の資源で笑顔の循環」の実現を目指すこととしています。



援農隊の皆さん（イベント販売にて）